

## 平成27年度海上の森保全活用事業計画について

## 1 愛知万博記念の森としての保全のための事業

## (1) 里山保全事業

- ・耕地管理

## (2) 森林育成事業

- ・企業連携による人工林の整備
- ・海上の森の会（森づくりグループ）による針広混交林整備、竹林整備  
国事業の森林・山村多面的機能発揮対策交付金を活用。

## (3) 森林の維持管理事業

- ・林道・作業道の補修等管理
- ・歩道等の整備・補修
- ・巡視の励行

## (4) 遊歩施設整備

- ・窯の歴史館の改修、物見の丘展望台の診断、自然歩道環境の改善

## (5) 事業用地維持

- ・事業用地の適正な管理を図るための草刈、危険木伐採、境界伐開等

## (6) 自然環境調査事業

- ・鳥類・外来生物生息状況調査
- ・湿地の環境調査
- ・希少動物の生息状況調査（ムササビ、ホトケドジョウ）
- ・猛禽類の生息状況調査（オオタカ、ハチクマ等）
- ・調査報告書の発行

## 2 森林や里山に関する学習と交流のための事業

## (1) 体験学習・多様な主体との連携

## ア 体験学習の実施（体験学習プログラム）

- ・里と森の教室（里山の魅力を知る：里と森づくり体験10回セット）
- ・調査学習会（①初夏の海上の森、②海上の森のキノコ③海上の森の水生生物）
- ・森の楽校（森と楽しくふれあう：①春の森をたんけんしよう、②秋の森でアーティストになろう）

## イ 多様な主体の参加の促進

## ①県民や県民参加組織との連携

## ○海上の森の会

- ・森林・農地の保全活用、体験学習プログラムの受託
- ・会内各グループとの協力、
- ・里づくりグループによる体験学習プログラム実施地等の継続的維持管理等

## ○サポーター制度

- ・海上の森の会に属していないが、個人として海上の森整備に貢献を希望する方を募り、歩道等の維持管理、竹林整備等を実施。H27.2月現在43名が登録

## ②企業との連携

- ・これまでに9社と覚書を締結、間伐作業を始め間伐材を用いた木工・工作体験等を実施、平成27年2月現在活動中企業6社。  
総活動面積3.38ha。3月中に1社（CKD）と新たに協定締結予定。

### ③全国の里山保全活動や施設との連携

- ・あいち自然環境団体・施設連絡協議会（あいち自然ネット）  
定期運営会議をセンターで開催、人と自然の共生国際フォーラムへの参加依頼、構成団体が企画する「いきもの探検隊」への協力、愛・地球博記念公園マネジメント会議への参加

### ④大学・小中学校・官庁・市民団体等との連携

- ・小学校の総合学習への協力、大学の学外講義の講義実施、自然観察への協力、地元との合同草刈り・除草活動等、有志団体との合同清掃活動
- ・海上の森の会自然環境調査グループによる生物季節調査（H18～）
- ・情報ライブラリー・展示室で公開
- ・海上の森モニタリングサイト1000調査（H20～）  
日本自然保護協会が指導する植物・鳥等の市民調査、センターは哺乳類担当

## (2) 人材育成

### ア 人と自然の共生国際フォーラム

フォーラム本体より前に活動発表会・意見交換会を行い、これらの結果も紹介し、愛・地球博10周年に相応しいフォーラムを開催する。

- ① 活動発表会・意見交換会・・・10月3日（土）
- ② フォーラム本体・・・・・・・・・・10月24日（土）

### イ あいち海上の森大学

森林再生・企業活動コース（30名）

## 3 海上の森の取組や成果の普及・情報発信

### ア 学習プログラムの作成・提供

- ・学習教材「自然観察ガイドブック」を有償頒布

### イ 自然環境情報等の収集整理・情報発信

- ・職員・関係団体が協力して来館者に関心・興味を持ってもらえるような企画展示
- ・海上の森に関わる方々への取材を始め、その時々話題を盛り込んだ季刊「ムーアカデミー通信」を発行
- ・毎月、地元瀬戸市のFMラジオ局から海上の森における話題を発信。
- ・ユーチューブによる情報発信。

## 4 センターの整備と運営

### ア センターの管理・運営

施設修繕、清掃・警備、施設管理・点検、機器リース、廃棄物処理、樹木管理など

### イ 海上の森運営協議会

2回開催

### ウ 第2次海上の森保全活用計画策定検討委員会

2回開催

- ・新たな「海上の森保全活用計画」を策定。
- ・目標年度は平成37年度（2025年度）とし、平成28年度（2016年度）から37年度（2025年度）までの10年間を計画対象期間とする。

## 5 愛知万博10周年記念事業（資料4参照）

愛知万博10周年を記念して海上の森で体験ツアーを開催する。

平成27年度海上の森保全活用事業計画

区 分	27予算額 (千円)	26予算額 (千円)	概 要
(1) あいち海上の森 センター運営費	17,711	17,711	運営事務費、施設修繕、光熱水費、 清掃・警備・施設管理点検委託、 機器リース、廃棄物処理
(2) 推進事業費	18,283	11,385	
ア 保全活動・ 維持管理費	10,067	3,242	里山保全事業 森林の維持管理事業 自然環境の維持保全 林道改良 境界整備、遊歩施設整備 事業用地維持
イ 普及啓発・ 参加交流費	4,441	4,441	里と森の教室 調査学習会 森の楽校 展示運営、学習資料の提供 企業連携の推進 関係施設・団体とのネットワークづくり
ウ 調査学習・ 情報発信費	3,302	3,302	自然環境調査 ・鳥類・外来生物生息状況調査 ・湿地の環境調査 ・猛禽類(オオタカ、ハチクマ)、 希少動物(ホトケドジョウ、 ムササビ)調査 情報の収集・整理・発信
エ 海上の森保全活用 計画策定費 ※	473	400	第2次保全活用計画策定
(3) 里山人材育成 推進費 ※	16,800	16,800	あいち海上の森大学 7月中旬～12月下旬 人と自然の共生国際フォーラム 10月3日(瀬戸市内) 10月24日(モリコロパーク)
(4) 里山自然歩道整備事 業費 ※	5,762	1,418	窯の歴史館の改修、物見の丘展望台の診断 自然歩道環境の改善
(5) 愛知万博10周年 記念事業費 ※	1,543	—	海上の森体験ツアー
合 計	60,099	47,314	(対前年比127%)

※：万博剰余金